

整理番号	19-14	事務事業名	(高齢サービス事業) 訪問理容サービス事業	作成部署	保健福祉部 福祉課	電話	内線805
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H14	根拠法令等	北広島市訪問理容サービス事業実施要綱				
" 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	北広島市高齢者保健福祉計画の策定段階でニーズが高かったことから計画に掲げており、北広島理容組合の協力態勢が整ったことから事業として開始した。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	高齢者福祉	(第 5 節)
	施策	在宅福祉サービスの拡充	(第 1 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	在宅の寝たきり高齢者及び重度身体障がい者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	身体状況により自力で理容店に出向くことができない方に、理容サービス(理髪)を行う。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	利用者は事前に市へ利用券の交付を申請し、実際の利用にあたっては直接利用者が申し込む。年6回まで利用できる。申し込みを受けた場合、理容師が利用者宅で理髪を行う。(委託事業により実施)
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金	67	62		
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	23	24	170	170
	合計	90	86	170	170
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		180	176	260	260

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	利用者数(平均)	15人	15人	25人	25人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	延べ利用回数	89回	84回	150回	150回
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1回あたりコスト	2,022円	2,095円	1,733円	1,733円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	高齢化が進展していくなかで、介護保険制度及び支援費制度の安定的な運営のためにも、在宅での自立した生活を継続していくための施策はますます重要な役割を果たすことになる。他の市町村においても、多くで行われているサービスである。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	高齢者や障害者が在宅で自立した生活を継続していくための支援は行政が関与すべきであり、在宅での自立生活には必要な事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	北広島市高齢者保健福祉計画の策定段階で市民への調査を実施してニーズを把握し、市民や保健福祉・医療関係者が参加する「計画策定懇談会」で議論のうえ、計画に掲げている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	委託により実施しており、他の手段は考えられない。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	理髪代金は利用者が負担している。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	自力で理容店に出向くことができない方を対象としており、2か月に1回の割合ではあるが、十分に在宅生活に関わるサービスとして有効である。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	利用者宅への訪問出張料を委託料としており、コスト節減の余地はない。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	在宅生活を継続していくために有効な事業であり、継続していく。現行は理容のみのサービスとなっているが、美容に対する希望もあり、今後検討していく必要がある。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり